学校番号	110

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語 （芸能文化科）	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「増補新版　現代の国語」（数研出版）						
副教材等	『図でつかむ　リード現代文　２基本　二訂版』（啓隆社） 『字義で覚える常用漢字』（浜島書店） 『常用国語便覧』（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業で行うペアワークやグループワークに積極的に参加し、自分の言葉で説明する「話すこと・聞くこと」の力をしっかりと身に付けてください。また様々な文章に触れ、授業活動の根幹をなす「読むこと」に関する力を向上させ、自身の考えを「書くこと」の力も身に付けていきましょう。ノートや副教材のワークはただ板書を写す、問題を解くだけでなく、枠外へのメモや重要箇所へ線を引くなど創意工夫を凝らして知識の定着を目指しましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」、「話すこと・聞くこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	評論 『水の東西』 〈社会と文化〉	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート プリント 小テスト
	評論 『時間と自由の関係について』 〈近代化と人間〉	a：実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b「話/聞」：自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 c：同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート プリント 小テスト 発表
	評論 『「わらしべ長者」の経済学』 〈新しい視点〉	a：文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えをさらに深めようとしている。	定期考査	定期考査	ノート プリント 小テスト
	評論 『事実なのか考えなのか』 〈解釈を述べる〉	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[書]：目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c：読み手を意識した構成・展開を積極的に考え、学習課題に沿って条件に即した文章をまとめようとしている。	定期考査	定期考査	ノート プリント 小テスト
	評論 『他者を理解するということ』 〈認識の枠組み〉	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	定期考査	定期考査	ノート プリント 小テスト
	評論 『「羅生門」の最後の一文』 （批評する）	a：文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。また、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c：作品について自分の考えを持ち、文章の構成に注意しながら積極的に批評文を書こうとしている。また、複数の文章を積極的に読み比べて考えたことを学習課題に沿ってわかりやすく説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート プリント 小テスト 発表

後期	評論 『一人の中にある無限』 〈「わたし」の多様性〉	a:言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート プリント 小テスト
	評論 『命は誰のものなのか』 〈対比する〉	a:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[書]:目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。	定期考査	定期考査	ノート プリント 小テスト
	評論 『絵を前に思いをめぐらす』 〈関連づける〉	a:比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[書]:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c:異なる文章と積極的に読み比べることで、それぞれの筆者の意見を理解し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	定期考査	定期考査	ノート プリント 小テスト
	評論 『会話という現象』 〈比較する〉	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話/聞]:目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な視点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c:筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート プリント 小テスト 発表

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間